

# 八多小学校だより

令和元年度  
10月号  
神戸市立八多小学校



## 八多学園に来てからずっと気になっている言葉

4月に赴任して以来、実はずっと気になっている言葉があります。いつも何の気なしに見ていたのです。その言葉は、校舎内に常に掲示されて来たようです。けっこう大きな掲示物に書かれています。概ね2m×3mぐらいの大きさがありそうです。これだけの大きさがあり、目立つと言えば目立つのですが、私も別に見る度に、その言葉について感心したり、じっくり考えたりするわけでもなく、調べることもなかったのです。つまり、見てはいても、頭ではスルー (through) していたのです。

しかし、この言葉は、何かの拍子に胸の中に湧き出てきます。そして「いい言葉だな。」と思うとともに、反省も強いられるのです。これまでこの教員という仕事をしてきて、自分はそのことを大切に子供たちに接してきたのか、いや、その前に人として自分はどうかだっただろうか、家族や友人、仕事の仲間に対して、と。これまでどころか、今現在、私もそこそよい歳になっているのに、「今の自分はどうか。恥ずかしくないのか。」と自問自答させられるのです。誤解の無いように言いますと、この言葉そのものは、19文字で、見た者に強く訴えるようなものではなく、何か教訓めいていて叱咤激励されるようなものでもありません。ただ、そこにある言葉なのです。それに、私も「いい言葉だな。」と思ったからと言って、誰がこの掲示物を作ったのかとか、出典はどこなのか、そもそもこの言葉は誰が言ったのか (作ったのか) に関心を持ちませんでした。

先月の学校だよりで紹介されていた「笑顔あふれる ポカポカツリー」活動は、私が気になっている言葉を、子供たちに具体的に行動させることによって、浸透させることにつながっています。この活動の意義は、全教職員がしっかりと理解していました。もちろん、私も理解していましたが、気になっている言葉について考えているうちに、あたたかい言葉がけを大切にしようというポカポカツリー活動の深く、大きな意義に、今さらながら、はたと気づかされました。ここまで妙に引っ張ってすみません。気になっている言葉というのは、「花は色

そしてかおり 人は心 そしてやさしさ」です。読むと、なんということのない言葉に感じるでしょう。また、人によって感じ方も違うでしょうし、同じ人でも、その時の心の状態によって違うと思います。でも、私は、気になって仕方がなくなってしまったのです。

どこに掲示してあるかご存知でしょうか。掲示場所は、子供たちが毎日通るわけではありませんが、ポカポカツリーからちょっと行ったところにあります。今頃遅すぎるといって恥ずかしいのですが、また、知ったら知ったで、今まで知らなかったのが恥ずかしいのですが、調べて分かりました。この言葉は、堀口大学の詩からのものでした。堀口大学は、フランス文学者であり、詩人・歌人でもあります。現在、5年生の国語の教科書に「耳」という訳詩 (ジャン・コクトー作) が掲載されています。(にも関わらず、「花は色 人は心」を知りませんでした。恥ずかしいです。)

同時に3年生の国語の教科書に出てくるお話も一緒に思い出します。「モチモチの木」です。じさまを助けるために、勇気を奮い起こして冬の真夜中の山道をふもとまで走った、孫の「おくびょう」豆太に、じさまがこう言うのです。「(……じぶんで じぶんで よわむしだなんて おもうな。) にんげん、やさしささえあれば、やらなきゃならねえことは、きっと やるもんだ。(……。)」と。お話の最後の場面です。

雨の中スタートしながら、見事にやりきった幼小中合同運動会。練習中も本番もキーワードは「やさしさ」でした。子供たちそれぞれが、自分より年少の人間や同級生を気づかいながら、取り組みました。小学校の子供たちの頑張り、中学生には、八多学園11年の集大成ともいえる姿を見ることができました。見せかけだけの「やさしさ」や「強さ」によるものではありませんでした。

「やさしさ」を持てる人って素晴らしいですね。

教頭 若松 和弘

## みんなでトライ



なかよし学級の「なかよしキッズ」、運動会では一人一人のめあてに沿って力を発揮しました。みんなと一緒に競技や演技をがんばる姿に、たくさんのご声援をいただきパワー満タン！ありがとうございました。

運動会が終わった先週、なかよし学級に各学年の友達を招いて「ひまたんパーク」を開催しました。(なかよし学級には「ひまわり学級」と「たんぼぼ学級」があるので、「ひまたん」です)

お客様の友達の前で、自己紹介をしたり「漢字なりたちクイズ」を披露したりしました。どの学年も楽しそうに参加してくれて、なかよしキッズも大満足。そのあと担任からなかよし学級についての話をしました。「みんなの顔や好みが違うように、一人一人“違う”ことが当たり前。」「誰にでも“得意”と“苦手”があるよね。」「なかよし学級は、得意な部分を伸ばし、苦手な部分は一人一人に合った方法で頑張るところです。」などの話をする、どの学年の子供たちも真剣に耳を傾けてくれていました。

なかよし学級の友達だけでなく、周りにいる友達みんなと互いに理解し合い、やさしい気持ちで接することができる八多っ子のスクラムの輪が広がることを願っています。

さあ、みんなでトライ！！

なかよし学級担任 横山 倫子



「この形からできた漢字は何でしょう？」



「はーい はーい！！」